

東海道五十三次を往く

第41回

つちやま 土山宿

近代化の波から
取り残された宿場町

鈴鹿峠を越えると東海道はいよいよ近江国、今の滋賀県に入る。土山宿は鈴鹿馬子唄で「坂は照る照る鈴鹿は曇るあいの土山雨が降る」と唄われ、天候の変化が激しいところだといわれている。広重の絵に描かれた田村川に架かる橋（海道橋）を渡ると坂上田村麻呂を祀った田村神社がある。東海道は一の鳥居までその参道も兼ねた荘厳な道となっている。土山茶の茶畑を眺めながら歩くと次第に古い町並みが続くようになる。旅籠跡の石柱碑が次々と現れて、やがて本陣跡に着く。このあたりが土山宿の中心だった。



田村川(海道橋)

広重が土山宿を描いた「春之雨」は、雨の中を大名行列が田村川に架かる橋を渡っている様子を描いている。現在の海道橋は安永4(1775)年に架けられた田村永代板橋を復元したもの。広重が描いた田村川は雨で増水していたが、この日は穏やかであった。



田村神社

鈴鹿峠の鬼退治の伝承がある征夷大將軍、坂上田村麻呂を祀った古社。2月中旬に開催される厄除大祭は多くの人でにぎわう。



土山家本陣跡周辺

本陣跡周辺は、問屋宅跡や旅籠跡が点在し、江戸時代の風情が色濃く残っている。土山家本陣跡は、三代將軍徳川家光が上洛の際に設けられた。明治天皇は天皇即位後、ここで初めての誕生日を迎えた。上段の間や宿帳などが現存。土山家住宅の離れをはじめ4棟の建物は、国の登録有形文化財。



東海道伝馬館

土山宿の文化や観光情報を発信。広重の東海道五十三次の全宿場を模型にした盆景も楽しい。建物は江戸後期に造られた土山の民家を改装したもの。



街道の土産

かにが坂飴

1200年以上続く素朴な飴。この地に現れた蟹の化け物伝説から生まれた。

江州蟹が坂

(ハツ割飴協同組合)
☎ 0748-66-1426
滋賀県甲賀市
土山町南土山甲 1301



土山茶

江戸時代より街道の名物として売られてきた。「かぶせ茶」が多く生産されている。

前田製茶本舗

☎ 0748-66-0008
滋賀県甲賀市
土山町南土山甲 438



街道の食

鴨せいろそば

土山宿では貴重な食事処で甘味もそろっている。店主は東海道通で東海道のことを色々と教えてくれる。民芸品や雑貨の展示販売も。

民芸・茶房 うかい屋

滋賀県甲賀市土山町南土山甲 328
☎ 0748-66-0168



「写真でたどる、現代の東海道五十三次を往く」
上・下巻好評発売中!

人気連載「東海道五十三次を往く」を書籍化。定価は上・下巻各1,650円。お求めは全国の書店、ネット通販などから。



お求めは
こちらからも!

